

B 人口減少に対応する生活機能維持の仕組みと運営体制

(2020～2021年)

◇概要

中山間地域における人口減少、高齢化が先行して進むエリアでは、公民館エリアなど集落より広い範囲で住民がまとまり、生活支援、移動支援、買い物場所運営、空き屋の管理・運営等の生活機能維持の仕組みづくりに取り組む例がみられます。中山間地域において、今後より一層の人口減少、高齢化が進むことが予想されるなか、若者や子育て世帯が定住し、高齢者がその地域で安心して暮らし続けるためには、これら仕組みづくりの拡大が必要であり、本研究では、主要な生活機能の立上および維持の方策について研究を行います。

◇課題と研究の目的

集落(自治会)の小規模高齢化が進行するなか、地域においても今後の移動、買い物支援の必要性が強く認識されており、人口減少、高齢化が先行して進むエリアでは住民組織による生活機能維持に向けた事業が散見され、今後のこれら事業の持続性や効果的な立上支援が課題となります(図1)。

以上をふまえ、本研究では、主要な生活機能について、維持の仕組みの検討・立上手順、運営体制、行政の効果的な支援策を整理するとともに、安定的な展開に必要な条件(収入規模、エリア、人口)の整理を行います。

◇研究の方法

研究項目		目指す到達点
①生活機能維持の仕組みの持続的展開に必要な条件の整理	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要な生活機能を維持する仕組みの展開に必要な運営体制、立地条件、住民の利用マインド形成手法、地域福祉(地域包括ケア等)、自治組織等との連携手法の整理 ■ 事業安定化のポイントおよび有効な支援策の整理
②生活機能維持の仕組みの立上手順の整理	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要な生活機能維持の検討・立上手順書の作成 ■ 仕組みの効果、持続性のアセスメント手法の開発
③地域運営組織と企業が連携した生活機能維持事業等の可能性検証	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域運営組織と企業が連携した生活機能維持展開のフィージビリティ、課題、実現に必要な条件等の整理

①生活機能維持の仕組みの持続的展開に必要な条件の整理

- ・県内外の住民組織等による生活機能を維持する先行的事例を調査し、継続に必要な経営体制(収入源構成、事務局体制等)、経済条件(売上、地域の人口規模活動範囲等)、住民の利用マインド形成(買支え意識醸成と維持等)、地域福祉、自治組織等との効果的な連携手法を把握、整理。
- ・調査対象: 県内外の20事例程度(生活支援、移動支援、買物環境確保、その他)

②生活機能維持の仕組みの立上手順の整理

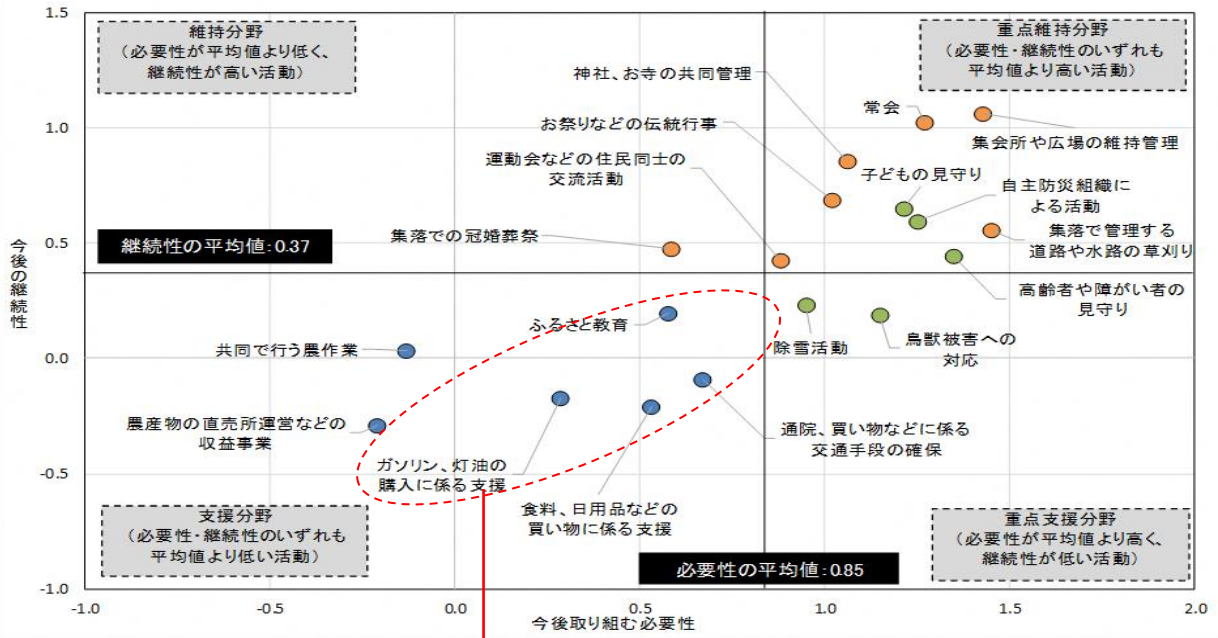
- ・上記①の調査結果に基づき、立上手順書の作成、効果・持続性のアセスメント手法の開発を行う
- ・県内で複数公民館エリアの範囲で生活機能維持の仕組みづくりに取り組む地区(「小さな拠点づくり」モデル地区推進事業の対象地区等)でアセスメントを実施。

③地域運営組織と企業が連携した生活機能維持事業等の可能性検証

- ・地域運営組織と企業が連携した事例を調査し、フィージビリティ、課題、必要な条件等の整理を行う。
- ・上記①を基本に必要ながあれば追加調査

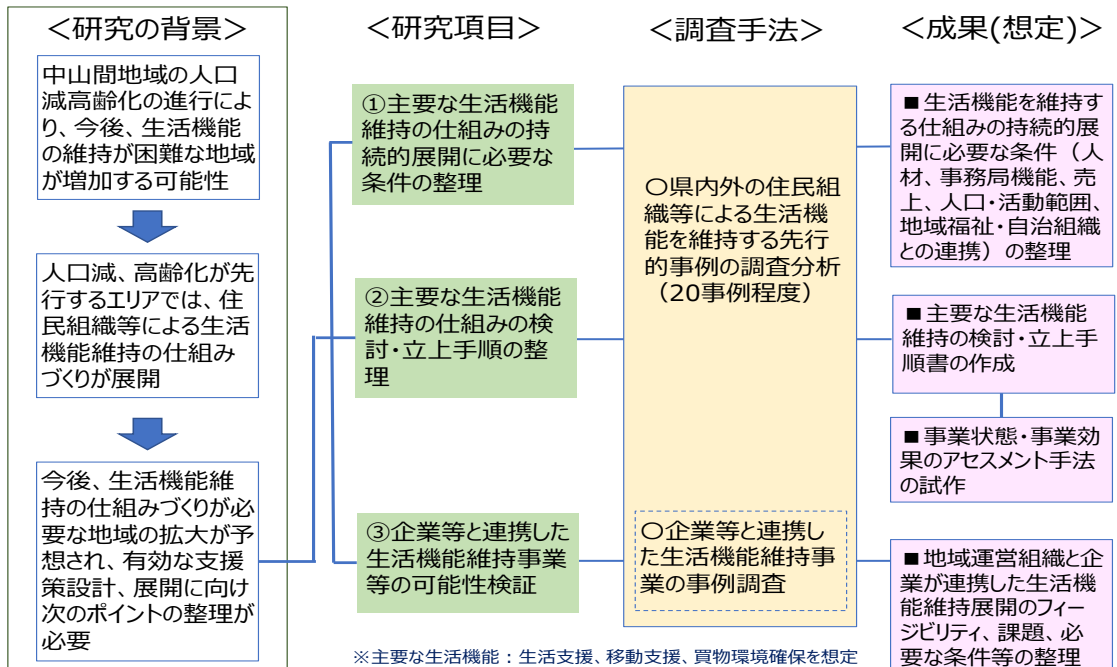
研究のイメージ

図1 集落活動の今後の継続性及び今後必要度（2018年度地域実態調査結果より～）



- 今後取り組む必要性・・・「2：とても必要としている、1：まあ必要、0：どちらでもない、-1：あまり必要でない、-2：全く必要でない」として数値化
- 今後の継続性・・・「2：10年後も継続している、1：5年後は継続している、-2：近いうちに継続困難」として数値化
- 実施率・・・●：50%以上、●：20%以上50%未満、●：20%未満

研究テーマ：人口減少に対応する生活機能維持の仕組みと運営体制 概要（2020-21年度）



◇連絡・問い合わせ先

島根県中山間地域研究センター 企画情報部 地域研究科
 担当 研究企画監 有田 昭一郎、専門研究員 皆田 潔
 〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207番地

TEL:0854-76-3833 FAX:0854-76-3758

E-mail: arita-syouichirou@pref.shimane.lg.jp HP: http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/